

文学の鬼を志望す

# 八木義徳展

2008年 10月18日(土)

入場無料

12月14日(日)

会場：町田市民文学館ことばらんど

休館日：毎週月曜日、第2木曜日

※ただし 11月3日、11月24日は開館

観覧時間：10時～17時

主催：町田市民文学館ことばらんど

共催：財団法人北海道文学館 北海道立文学館

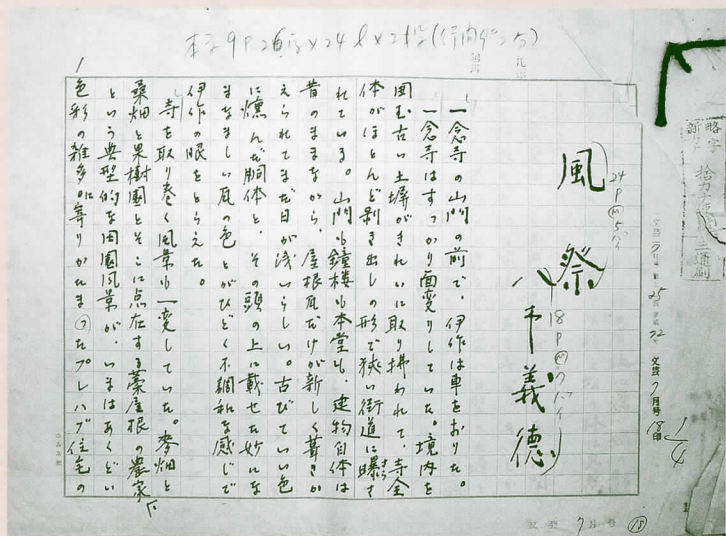
特別協力：室蘭市港の文学館

町田市民文学館が市制50周年記念事業として開催する特別企画展。一九六九年から三十年間町田に住み、短編小説を中心に数多くの作品を残した八木義徳。時流に流されず、自己を厳しく見つめるその姿勢と作風は、近年各方面から高い評価を得ています。

一九四四年、勤務先の工員をモデルにした「劉廣福」により第十九回芥川賞を受賞。一九七五年には、庶子としての自分と実父との憎悪と和解を題材にした「風祭」を発表、この作品が八木義徳の到達点となりました。晩年にはその業績に対し日本芸術院恩賜賞、菊池寛賞、早稲田大学芸術功労者表彰などを受賞しました。作家としての円熟期を過ごしたこの町田市で、没後十周年を前に本格的な文学展を開催いたします。



『母子鎮魂』1948年3月 世界社



「風祭」原稿 「文藝」1975年7月 (室蘭市港の文学館蔵)



第19回芥川賞正賞 鉄薬硯 1944年 河井寛次郎作 (室蘭市港の文学館蔵)

### 関連講演会

■ 11月2日(日) 14:00～16:00

「八木義徳の戦後出発—劉廣福から母子鎮魂へ」  
講師／紅野敏郎氏 (早稲田大学名誉教授)

■ 11月23日(日) 14:00～16:00

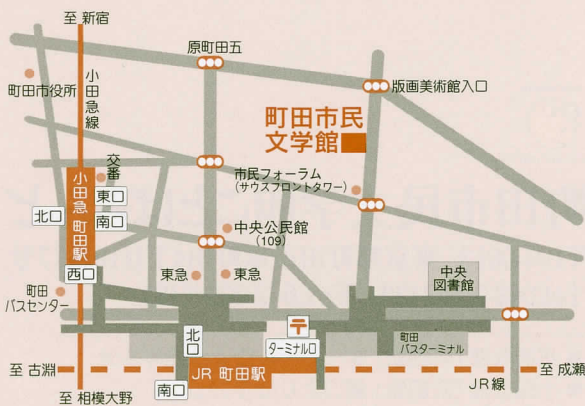
「八木文学から受け継ぐもの」  
講師／佐伯一麦氏 (作家)

※電話による申し込み (定員100名)  
コールセンター/042-724-5656 (10月1日 13:00～)

### 展示解説

■ 担当学芸員によるギャラリートーク 14:00～

※申し込み不要  
(10月21日、10月26日、11月11日、12月9日)



### 巡回展

「文学の鬼を志望す—八木義徳」展

会場：北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号

Tel: 011-511-7655 Fax: 011-511-3266

会期：2009年1月31日(土) — 3月29日(日) 休館日：毎週月曜日